

## 2学期 終業式 式辞

みなさんおはようございます。残暑を超え、秋を超え、本格的な冬を迎えています。季節の変化に心身ともに対応していかなければなりません。エネルギーのいる2学期でした。50周年記念式典では生徒のみなさんの取り組みに対する高い評価が集まりました。大変喜ばしいことです。その他、修学旅行・学校行事など日常の教育活動においてもみなさんの成長が確認でき、実のり多い2学期でした。今歩みを止めることなく更に高みを目指し計画的にチャレンジして下さい。

それでは本日、令和5年のメにあたり、2点お伝えします。

1つ目は「やさしさを表現する勇気」についてです。

去る新聞の朝刊に・・・・・・・・・・(去る4月6日朝日新聞朝刊に)

「バスの中泣きやまない赤ちゃんに「お母さん、大丈夫ですよ。赤ちゃんですから気になさらないで。」と、運転手さんの明るい口調のアナウンスに、車内がやさしい雰囲気包まれた。という記事が載っていました。赤ちゃんのお母さんをはじめ、車内の人々のこやかな表情が目につかぶ一コマです。人は元来、「人の気持ちを理解し、言動を許容する心」を持ち合わせています。しかし、そのことを声に出したり、行動に移すのは勇気が伴い躊躇することも少なくありません。みなさんにはその勇気を身に付けていただきたいと思っています。日常において「やさしさを表現する」機会はいたるところにあります。みなさんに期待します。

2つ目は「夢の実現について」

世界中に夢の世界を展開してきたある人物は、夢を叶えるには「自分の言葉や思い、考えに自信を持ち、勇気をもって行動し、そしてそれを続ける。その際、好奇心を意識の片隅に備えていれば、人生を豊かにしてくれる」と語っています。(自信)(勇気)(継続)(好奇心)です。私はそれに加えて努力を当たり前姿勢とすることと、困難に立ち向かう根気が大切だと思えます。挫折を繰り返しても目標への挑戦を諦めず努力を続けた者は、挫折を味わった回数だけ人間として強くなります。みなさんには困難に立ち向かうことのできる、人間力のある社会人に成長いただくことを願っています。また、夢実現後のステージも見据えていただきたいものです。皆さんの可能性や活躍する舞台は無限大に広がっています。

終わりになりますが、新年 辰年がみなさんにとって幸多い年となることを祈念して、2学期終業式の式辞とします。

学校長 藤田 繁也